

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142F006		日本史特講 (Special Lecture of Japanese History)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部			氏名 八木 直樹 E-mail n-yagi@oita-u.ac.jp 内線 7976											
授業の概要	中学校社会科歴史的分野では、我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動が重要視されています。授業では、学生各自が選んだ中学校教科書の該当頁を報告した後に、報告内容について質疑・討論を行っていきます。本授業の目標は、中学校教科書の内容、及び掲載されている様々な歴史資料を活用した授業開発ができるようになることです。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 教科書の内容に関する文献・歴史資料を探ることができる。																	
目標2 歴史資料が発信している情報を読み取り、それを教科書の内容と関連付けることができる。																	
目標3 教科書の内容をわかりやすく、説明不足のないように説明できる。																	
目標4 他者の報告内容に対し、疑問点を質問することができる。																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 ガイダンス																	
2 報告と討論1(古代)																	
3 報告と討論2(中世)																	
4 報告と討論3(近世)																	
5 報告と討論4(近代)																	
6 報告と討論5(現代)																	
7 報告と討論6(日本と世界)																	
8 やり直し報告と討論1(古代)																	
9 やり直し報告と討論2(中世)																	
10 やり直し報告と討論3(近世)																	
11 やり直し報告と討論4(近代)																	
12 やり直し報告と討論5(現代)																	
13 やり直し報告と討論6(日本と世界)																	
14 まとめ(教科書と資料集を用いた報告と討論1)																	
15 まとめ(教科書と資料集を用いた報告と討論2)																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	・毎回、報告者の発表に対して、説明不足な点などを受講生・教員が質問します。その質問に対して、報告者は問題点を修正したうえで、再度やり直し報告を行ってまいります。					工夫	その他の	なし。								
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	担当箇所の教科書の事前学修と、特に報告者には入念な報告準備が必要です(25h)。															
	事後学修	報告者のレジュメと担当箇所の教科書の復習をしてください(5h)。															
教科書	教科書は指定しません。教科書の該当頁を配布します。																
参考書	中学校社会科歴史教科書、中学校学習指導要領解説社会編。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	報告	70%															
	質疑・討論への参加状況	30%															
注意事項	なし。																
備考	なし。																
リンク																	
	URL																